

水通信



2021.12.23 第183号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

各事業所名をクリックすると目次に戻ります

目次

☆ **【[巻頭言](#)】**

- 中部支社事業部次長 花田 弘幸

☆ **【[中部管内水源情報](#)】**

☆ [インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』](#)

☆ 《[新着情報](#)》

[中部支社](#)

- 地震・津波の防災訓練を行いました

豊川用水

- 大島ダム記念樹の育成・管理について
- 530（ゴミゼロ）のまち環境フェスタに参加しました
- 愛知大学の学生が万場調整池を視察しました
- ポンプ車の操作訓練を実施しました

木曽川水系連絡導水路

- 事務所を移転しました

愛知用水

- 阿久比町立英比小学校で出前講座を行いました

木曽川用水

- 若手職員等対象の勉強会を開催しました
- 労働安全講習会を開催しました
- 中型車の安全運転講習を受講しました

岩屋ダム

- 岩屋ダム「環境整備事業」に参加しました
- 流木の無料配布を行いました

阿木川ダム

- 阿木川ダム体験学習会を開催しました

徳山ダム

- 水質テロ訓練を実施しました

長良川河口堰

- 津波防災訓練を実施しました
- 桑名市立陵成中学校 河口堰・アクアプラザながら見学会を行いました

味噌川ダム

- 「木祖村立木祖小学校施設見学」を開催しました
- ダム貯蔵酒の蔵出し

三重用水

- 刈草の無償配布を実施しました
- 排水ポンプ操作訓練を実施しました
- 安全運転講習を受講しました。

☆ 【イベントカレンダー】

- 令和4年1月～2月

☆ 【編集後記】

- 担当課 中部支社事業部水路事業課

巻頭言

【中部支社事業部次長 花田 弘幸】

中部支社事業部次長の花田と申します。中部支社管内の勤務は、長良川河口堰建設所を初任地として阿木川ダム、長良川河口堰、徳山ダムの各管理所等を経験し、長年にわたって木曽川水系の水運用に携わらせていただきました。

今季の中部地方は、例年になく早い梅雨入りや8月豪雨に見舞われた後、一転して10月以降は少雨傾向となり渇水に至らないか危惧するなど、気象の変化が激しかったと感じています。

さて、今年を振り返りますと、コロナ禍において無観客で開催されたオリンピック・パラリンピックの日本選手の活躍、マスターズ松山選手と全米女子オープン笹生選手の優勝、大リーグ大谷選手のMVP受賞といったスポーツ選手の活躍に加えて、真鍋博士のノーベル物理学賞受賞とうれしい出来事に触れられた一年でした。特にオリンピック新種目スケボーの堀米・西矢両選手の颯爽とした演技は旧世代の私にとって信じられない振る舞いであり若い世代の頼もしさを感じました。また、真鍋博士の開発した気候モデルは地球温暖化の影響を予測するものであり、私自身が向き合う課題である異常気象の影響に備えた対応の源流と知り、真鍋博士の受賞に大いに敬意を表する次第です。このような活躍や受賞までの道のりは、怠惰な愚生に想像し得ない努力の賜であろうと感嘆しています

今回、私から昨今話題にあがるデジタル・トランスフォーメーション（DX）と持続可能な開発目標（SDGs）に関連した機構の取り組みについて紹介します。

機構は、情報通信技術（ICT）のさらなる推進や業務や組織、職員の働き方等あらゆる分野で変革を図る「独立行政法人水資源機構DX推進プロジェクト」を令和3年9月に策定しました。スポーツ界での若い世代の活躍に触れましたが、国内の少子高齢化は確実に進行し、各界において人材確保と後継者育成は大きな課題となっています。ICT技術の導入によるビジネスモデルの変革を機構においても一層進め、業務の高度化・効率化に努めて後世の働きやすい環境作りに取り組むとともに、水に関する歴史と培ってきた知識を知的財産としてしっかり引き継ぐことが求められていると思っています。

気候変動に関しては、SDGsの取り組みも注目されています。事業を行いつつ社会や地球環境の改善につながるようなビジネスモデルが期待される中、調達した資金を活用して、気候変動による渇水の頻発化や豪雨の更なる激甚化等の課題を解決すべく治水・利水事業を通じた社会貢献活動に努める取り組みとして、機構はサステナビリティボンドを発行しました。この取り組みは、国連の持続可能な開発目標の達成にも貢献するものとして評価され市場からの資金調達を実現しています。

DX推進プロジェクト、サステナビリティボンドについては、水資源機構Webサイトに紹介していますので、ぜひご覧ください。

最後に、この原稿を執筆しているのは12月初旬ですが、庁舎周辺の銀杏は鮮やかな黄金色となり、木曽川源流の味噌川ダムからは雪の便りを聞くなど本格的な冬の訪れを感じてい

るところです。皆様におかれましては健康に留意され、明るく新年を迎えられますよう祈念申し上げます。

DX推進プロジェクト紹介URL：

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/torikumi/dx/index.html>

サステナビリティボンド紹介URL：

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/zaimu/sustainability/index.html>

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける12月22日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曾川水系の岩屋ダムの12月降雨量は平年を下回る状況（平年比81%）となっていますが、3ダム（牧尾・阿木川・味噌川ダム）の12月降雨量は平年を上回る状況（平年比128%～168%）となっており、4ダム合計の貯水率は92%（平年比107%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

なお、牧尾ダムでは12月からは主として発電運用期間（翌年3月31日まで）となり、3月末にかけて貯水量が計画的に低下していきます。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの12月降雨量は、平年を上回る状況（平年比140%～175%）となっており、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は80%（平年比101%）と平年を上回る貯水状況となっています。

中部管内各ダムにおける12月の降雨及び利水貯水率（12月22日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	151	168	128	81	140	175	96	82
利水貯水率 (平年比)	82.8 (112.9)	90.5 (101.8)	98.2 (102.3)	100 (105.0)	73.6 (99.8)	86.1 (94.6)	72.3 (96.6)	100 (100)

- 中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。
中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

- ◆リアルタイム情報 <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>
- ◆中部管内の水源状況（平日更新） <https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>
- ◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou03-1.html>

インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

今回は、11月1日付けで味噌川ダムに初転勤で転入してきました採用2年目の若手職員に、初めての人事異動や業務のことなどについてお話を伺いました。



(写真：味噌川ダムを背景にインタビューを受ける世鳥山さん)

<Profile>

世鳥山 陸也 Rikuya Yotoriyama
味噌川ダム管理所 総務班

令和2年 独立行政法人水資源機構 採用
利根導水総合事業所に配属
令和3年11月 味噌川ダム管理所へ異動
現在に至る

いきなりで恐縮ですが、世鳥山さんの苗字は、なかなか聞いたことがない珍しい苗字だと良く言われませんか。

—— 栃木や群馬などの北関東にある苗字と聞いていましたが、調べたところ、実は全国でも20名ほどしかいない珍しい苗字だそうです。

珍しい苗字だと、初めての環境でも誰よりも早く顔と名前を覚えてもらえそうですね。

—— 初対面の方からは、必ず珍しい苗字ですねと言われるます。おかげさまで、誰よりも早く顔と名前を覚えてもらうことができると感じています。

話変わって、世鳥山さんは入社されてからの約1年半、埼玉県にある利根導水総合事業所にて勤務されていましたが、どのような業務を経験されましたか。

—— 前任地では、第二管理課というところで施設の管理や使用承認に関する手続きを行っていました。事務職として採用されたのですが、土木職の方がこれまで行っていた東京都や埼玉県で使用する都市用水の配水管理を行うなど、貴重な経験をさせていただきました。入社前までは数字を扱うことが大の苦手で、配水の計算をよく間違えて先輩方からご指導いただくことが多かったのですが、慣れるにしたがって数字アレルギーは解消されていきました。また、施設の操作当番や防災業務も経験させていただき、特に防災業務については台風等予見可能なものだけでなく、不意の地震やゲリラ豪雨など、急な防災にも備える心づもりができました。

慣れない業務で苦勞もありましたが、担当していた武蔵水路の水が使用されているエリアを休日に訪れ、供給に携わっている水が都心の人々に確実に届いていることを実感することにより、仕事に対するモチベーションを高めていました。

仕事に対する素晴らしいモチベーションの高め方ですね。利根導水総合事業所は治水及び利水の建設・管理を行う一大事業所で、職員の数も多かったのではないかと思います。この1年半で多くの職員と接してどのようなことを学びましたか。

— 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、職員全員としっかり会話できたかどうかは怪しいところがありますが、業務上接することが多かった土木系の職員の方々に仕事をたくさん教えていただいたおかげで、機構の管理業務についての知識や心掛けなどを学べたと思います。

そして、この11月1日で味噌川ダム管理所に人事異動されました。この異動の話聞いた時の心境について教えて下さい。また、「味噌川ダム」と聞いて思い浮かんだことは何でしょうか。

— 今年度中は利根導水総合事業所で業務を続けると思っていたので、突然の異動の話に戸惑いましたが、ダムの管理に携わる仕事がしたくて水資源機構に入ったので、正直なところ嬉しかったです。また、趣味の昆虫採取等で岐阜県に行くことが多かったので、フィールドにすごく近づいたという気持ちもあり、心の中でガッツポーズしていました（笑）。

世鳥山さんは今回が初めての転勤となりますが、初転勤を経験してみてどのような点が大変でしたか。大変だったこと、面白かったことなど、感じたことがあれば教えて下さい。

— 初めての異動ということもあり、限られた時間の中で業務の引継ぎと引越準備を並行して進めるのがとても大変でした。特に引継書の作成については、自分の業務を分かりやすく伝えるというところに気を配りましたが、先輩方から指摘を受けて引継書を修正するなど苦勞しました。また、引越についても荷物を上手くパッキングすることの大変さを痛感しました。

引継書の作成も初めての経験で、引越と並行しての作業ということで時間もない中大変でしたね。現在は味噌川ダム管理所でどのような業務に携わられているのですか。

— 現在は味噌川ダム管理所の総務班で、総務・人事業務を行っています。例えば年末調整などは初めての経験で分からないことばかりですが、過去の事例を参考にしつつ、上司や先輩方に助けていただきながら日々業務を覚えているところです。

これまでの建設と管理を同時に行う大事務所から、今度は管理を少数精鋭で行う事務所に異動となりました。事務所の雰囲気も業務の内容も全く異なると思いますが、どのような気持ちで日々業務を行われていますか。

— 日々の通常業務をしっかり行うことは当然ですが、ダムの管理所では限られた人員で仕事を進めていく必要があり、当然防災業務などにも携わる機会が今後増えるかと思っています。前任地では配水管理や防災などの業務も経験してきたことから、これまでの経験を少しでも活かして円滑なダム管理に貢献できるよう日々努力しています。

まだ異動後間もないため、仕事にも普段の生活において慣れない日々が続くかと思いますが、ストレス解消のためにしていることや趣味などについて教えてください。

— 趣味の昆虫採取についてはシーズンオフに入ってしまったので、これから春までの間、どのように休日を過ごそうか思案中です。現在私が住んでいる長野県木曾町は、スーパーやコンビニなども揃っており生活に困ることはありませんが、ファミリーレストランが近くにないので、休日はおよそ30km先の伊那市までドライブがてらご飯を食べに行っています。旅行が好きということもあり、勤務地周辺の地域を色々巡ることができるのはメリットですね。

冬が終われば大好きな昆虫採取の季節がやって来ます。これから仕事も趣味も充実して生活できそうですか。

— ここは山を越えれば上高地や奥飛騨温泉郷まで1時間という環境です。学生時代登山などのサークルに入っていたこともあり、昆虫採取以外にも楽しみがたくさんあるので、平日はしっかり仕事に励み、休日は趣味を満喫できるよう、楽しみながら日々過ごしていきたいです。

最後になりますが、今後水資源機構でどのように活躍したいと考えておられますか。また、今後どのような仕事を体験したいと考えられていますか。

— まだ総務・人事系の仕事を覚え始めたばかりですが、事務職として採用されたので、まずは様々な経験をした上で、困ったときには頼りにされる「総務・人事のスペシャリスト」を目指したいと思っています。そのためには、まずは日々の業務の中で法律や規程等を学ぶとともに、上司や先輩方の良いところを積極的に取り入れることで成長につながれたらと考えています。また、広報業務についてはこれまでずっと携わりたいと思っていたので、twitterの投稿を積極的に行っています。これからダムや地域の四季折々の景色や出来事などを皆様に見ただけのよう、自らも楽しんで広報していきますので、ご指導ご鞭撻の程よろしく申し上げます。

年末の業務多忙な中、インタビューにお応えいただきありがとうございました。慣れない業務への取り組みやその困難を克服していった様子を伺い、日々の努力が成長につながるということを改めて実感しました。また、人事異動により勤務先が変わっても楽しみを見つけ、仕事も趣味も前向きに頑張っているところに非常に好感が持てました。

世鳥山さんはこれから様々な業務を通じて多くの経験をされるかと思いますが、業務に対する高いモチベーションと持ち前の前向きさで、今後のさらなるご活躍を期待しております。

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに応じていただける方を引き続き募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

《新着情報》

中部支社

○ 地震・津波の防災訓練を行いました

11月5日（金）は「津波防災の日」であることから、中部支社では当日に地震・津波への知識の向上と防災意識の高揚を図るため、防災訓練を実施しました。

防災訓練には、職員42名が参加して、大規模地震が発生した場合を想定した「シェイクアウト訓練」及び、避難場所と移動経路を確認するための「避難訓練」を実施しました。また、中部支社管内事務所の津波防災の概要について再確認するため、「津波防災に関する勉強会」を開催しました。

地震・津波は予測が困難な災害の一つです。日頃の訓練はもちろんのこと、防災の意識を常に持つことも対策につながります。防災訓練を通じて、高い意識を持って地震・津波に備えて参ります。



■ 支社駐車場での避難訓練の様子



ブレイクタイム 四字熟語

【 竜驤虎視（りゅうじょうこし） 】

・竜が天に昇り虎が鋭く四方を見渡すさまから転じて、世の中を威圧するように活気や勢いを示すこと。

豊川用水総合事業部

○ 大島ダム記念樹の育成・管理について

10月6日（水）、大島ダム朝霧湖公園広場にて、大島ダム記念樹（桜木）の育成・管理を目的に桜木周辺の草刈りを実施しました。

当日は晴天に恵まれ爽やかな気候の中、水資源機構職員と新城市ライオンズクラブ会員の総勢23名の共働作業となりました。

新城市ライオンズクラブは、新城市内の名所を清掃・保全するボランティア組織で大島ダムの桜木にも強い愛着を持たれています。大島ダムは、この地域の大切な水源施設であることに加え、地域の憩いの空間であることを改めて認識しました。施設を健全に保つということは、技術的な機能面だけでなく、施設の周辺環境も一体であることを忘れず、ライオンズクラブをはじめ地域活動組織等とも連携して、地域に親しまれる施設を目指していく所存です。



■大島ダム朝霧湖公園広場にて記念撮影



■記念樹周辺の草刈りの様子

○ 530（ゴミゼロ）のまち環境フェスタに参加しました

11月6日（土）、のんほいパーク（豊橋総合動植物園）にて開催された「530のまち環境フェスタ（主催：豊橋市環境部）」に水資源機構職員3名が参加しました。

本イベントは、多くの市民に廃棄物の削減のみならず、地球温暖化などを広く周知、普及啓発することを目的とされ、豊川用水事業の実施にあたり、環境の保全に積極的に取り組んでいる水資源機構も豊橋市内の関係行政機関の一つとして参加しています。

当日は、会場（のんほいパーク）内に水資源機構のブースを設置し、『豊川用水』の概要、水資源機構（豊川用水総合事業部）で実施している530（ゴミゼロ）活動及び再生可能エネルギー利用の取り組み（水力発電）などをPRしました。ブースには、多数の来場者があり、熱心に職員の説明に耳を傾けていただいた姿から、環境に対する市民の関心の高さを改めて認識しました。一方、小学生に『豊川用水』について尋ねたところ、“学校で勉強した

から知っているよ”というお答えをたくさんいただき、地元小学校の社会教育と連携した出前授業や施設見学会等が奏功しているのではないかと嬉しく思いました。



■水資源機構の展示ブースの様子

○ 愛知大学の学生が万場調整池を視察しました

11月24日（水）、愛知大学地域政策学部食農環境コースの学生30名、教員5名が豊川用水の万場調整池を視察されました。

愛知大学地域政策学部食農環境コースでは、学生の食・農・環境に関わる現場の実態に対する理解を深めることを目的に、「食農環境講習Ⅰ」を開講されています。その講習の一環として、東三河地域の農業を支え、食料供給基盤となっている豊川用水地域とその代表施設である万場調整池を視察したいと豊川総合用水土地改良区を通じて依頼があったものです。

水資源機構からは、豊川用水全体の管理概要、豊川総合用水土地改良区からは農業用水が農地に届くまでの仕組みなどを説明した後、管理棟屋上から万場調整池をご覧いただきました。

その後の意見交換では、環境保全への取り組みや災害時の対応などの質問が多く出され、施設管理のあり方に興味をもたれていたようです。

視察の最後には「ご説明いただいた内容は今後の学習に役立てたい。」と謝意を述べられました。更なるその視察成果を披露する発表会（令和4年1月12日開催）に招待していただけることになりました。



■管理棟屋内での説明の様子



■管理棟屋上からの説明の様子

○ ポンプ車の操作訓練を実施しました

11月26日(金)、豊川用水の万場調整池にて、水資源機構職員11名、利水関係機関の方々8名でポンプ車(防災用備蓄資機材)の操作訓練を実施しました。この訓練は、ポンプ車の運転、設営、操作を迅速かつ適切に対応できるよう、操作方法の習熟を図ることを目的として、例年6月と11月の年2回実施しているものです。(ポンプ車は、水資源機構豊川用水総合事業部豊橋支所敷地内にある専用格納庫で管理・保管しています)

ポンプ車は、豪雨時に浸水被害が発生した自治体等への排水支援を行った実績もあります。

今後も操作訓練等の経験を重ねながら、多くの機構職員が自らポンプ車を運用・管理できる体制を継続して整備・充実させていく所存です。



■ 関係者と連携し機器の組立中



■ ポンプでの排水状況

木曾川水系連絡導水路建設所

○ 事務所を移転しました

木曾川水系連絡導水路建設所は、岐阜県庁近くの貸事務所で業務を行ってきましたが、11月29日(月)に揖斐郡揖斐川町の徳山ダム管理所揖斐川事務所内に移転し、業務を開始しました。

近くに山々を眺望できる自然豊かな環境の下、気持ちも新たに業務に取り組んでいきますので、引き続きよろしくお願いたします。

住 所：岐阜県揖斐郡揖斐川町長良319番地1

電 話：0585-22-5216

FAX：0585-22-5217



■ 徳山ダム揖斐川事務所位置図 (広域)

■ 木曾川水系連絡導水路建設所事務室前にて

「事務所位置図」等はこちら https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/PDF/iten_20211129.pdf

愛知用水総合管理所

○ 阿久比町立英比小学校で出前講座を行いました

11月15日(月)に阿久比町立英比小学校の社会科学習の一環として、4年生82名を対象に出前講座を行いました。

当日は、「水の大切さ」や「愛知用水の歴史や役割」などについて、パワーポイントや映像などをおして分かりやすい説明に努めました。

児童たちは実際の工事の映像などを見て、建設の規模の大きさや迫力に大変驚いている様子でした。

また、近年の渇水状況、水路内の汚れの様子や危険性などを解説しながら、「①水を大切に使う、②愛知用水をよごさない、③水路の中には入らない」という3つのお願いをさせていただきました。

児童たちも熱心に話を聞いてくれて、「工事の費用はどこからくるの?」といった疑問や、「歯磨きの水を出しっぱなしにしていたので、これからは気をつけます。」といった発言があり、講座後には、先生方から非常に参考になる映像だったとの意見を頂くなど、出前講座をおして、「水の大切さ」や「愛知用水の歴史や役割」に対する関心と理解が深まったものと感じました。

愛知用水総合管理所では、これからも引き続き出前講座を実施して、多くの児童に愛知用水の重要性などを伝え続けていきます。



■講師となった愛知用水の職員たち



■説明を聞く児童

木曽川用水総合管理所

○ 若手職員等対象の勉強会を開催しました

木曽川用水が管理する木曽川大堰は木曽川流域全体を監視しながらの管理をしており、職員が当番で操作室勤務を行っています。このことから、木曽川上流のダム施設や管内の水の歴史をよく理解する必要があり、今年度、若手職員を中心に各施設の視察を兼ねて勉強会を開催しました。

7月28日(水)、8月6日(金)、若手職員(新規採用、2年目職員)を対象に、木曽川用水の水源施設である岩屋ダム、操作室業務で関わる今渡ダム(関西電力)、犬山頭首工(東海農政局)、及び木曽川右岸施設(白川取水口、上飯田調整池(八百津町水道が取水))等の当用水に関連する施設の、管理業務についてより習得してもらうための現地研修を実施しました。

また、10月22日(金)、26日(火)には、海部土地改良区に隣接されている『水の館』を若手職員に加え、事務補助職員にも見学してもらい、濃尾第二地区における用水の歴史、及び水事情への理解を深めました。

視察先の皆様にはたいへんお世話になりました。



■説明を受ける若手職員



■屋上にて施設説明を受ける

○ 労働安全講習会を開催しました

10月27日(水)、職員16名(木曾川用水総合管理所開催、美濃加茂管理所(W e b)、弥富管理所(W e b)、長良導水管理所(W e b)及び受注者8社(W e b)を対象に一宮労働基準監督署から講師を招き労働安全講習会を開催しました。

第13次労働災害防止推進計画の状況やリスクアセスメント推進に向けての説明、労働災害事例を用いた死亡事故発生状況等の解説や防止のポイント等を説明いただき、木曾川用水事業の工事でも使用率の高いドラグ・ショベルによる事故に特化した解説をいただくなど、労働災害防止の知識を深めました。



■講習会の様子

○ 中型車の安全運転講習を受講しました

水資源機構では、激甚化する自然災害に対して機構施設の被災等に迅速に対応するため、排水ポンプ・クレーン付トラック・可搬式浄化装置等を全国に分散配備しております。

木曾川用水は、クレーン付きトラック(8T車 クレーン2.93T)が配備されていることから、有事に際し職員が安全に運転できるように、自動車教習所において教官の指導をあおいで、中型車の走行訓練を行いました。車両感覚のつかみ方をはじめ、コーナーの曲がり方や普通免許でおなじみのS字コース、バック等の運転技術の習熟を図りました。

訓練は、11月1日(月)と11月8日(月)の二日間、各3名の計6名が受講しました。



■中型車の運転指導を受ける



■運転感覚を習得中

岩屋ダム管理所

○ 岩屋ダム「環境整備事業」に参加しました

12月1日（水）、岩屋ダムから約800メートル上流で、岩屋ダム水源地域ビジョン推進協議会が主催する環境整備活動に参加しました。

この活動は、岩屋ダムを活かした水源地域の活性化を図るべく、毎年開催されているものです。今年は、コロナ渦でもありツーリング等で岩屋ダム周辺の景色を見に来られる人も多いため、東屋がある待避所周辺を中心に行いました。

当日は、下呂市・馬瀬川漁協・馬瀬川第二ダム等の関係者約30名と、枝打ち・下草刈り等や、投棄されたゴミ等の回収を約2時間行いました。作業が進むにつれ視界が開け湖面が見えるようになる様子は、趣深いものがありました。少しでも今回作業を行った場所が利用され、地域が活性化する要因の一部になれば幸いです。

今後も、関係団体との交流を深め岩屋ダム管理所の水源地域である下呂市を共に盛り上げていければと思います。



■ 景観整備事業の作業の様子

○ 流木の無料配布を行いました

10月24日（日）、岩屋ダム上流約4キロ地点の柏谷で毎年恒例の流木の無料配布を行いました。この活動は、大雨や台風によりダム湖に流れ込んだ流木を有効利用することを目的に、長さ30センチ程度にカットした流木を皆様に配布しているものです。

当日は天候にも恵まれ、たくさんの方に来ていただきました。薪ストーブの燃料やスウェーデントーチとしてキャンプで使用されるなど、目的は様々でしたが皆様笑顔で持ち帰っていただき、有意義な活動になったと思います。



■ 流木を希望者に配布している様子

阿木川ダム管理所

○ 阿木川ダム体験学習会を開催しました

12月9日（木）に地元の恵那市立東野小学校4年生の児童を対象とした、阿木川ダム体験学習会を開催しました。

本学習会ではダムの役割について説明を行った後、阿木川ダム湖の巡視体験、ダム模型を使用しての浸食・運搬・堆積の実験、ダム湖に生息するプランクトンの顕微鏡観察を通じてダムの役割について体系的に学習していただきました。最後に参加された児童に修了証をお配りし、学習会を終了しました。

当管理所では今後もコロナ感染症対策に留意しながら引き続き広報活動を進めて参ります。



■ 概要説明



■ 巡視体験



■ ダム模型実験

氏名	
所属	恵那市立東野小学校 4年生
交付	令和3年12月9日
阿木川ダムを愛する限り有効	
修了の条件等	ダム施設見学や環境調査などの体験を通じて、ダムや貯水池の環境に対する知識や興味を深めた者に限る
優良	
種類	ダム見学 <input type="checkbox"/> 巡視 <input type="checkbox"/> 水質測定 <input type="checkbox"/> 採水 <input type="checkbox"/> プランクトン観察 <input type="checkbox"/>
修了証	
阿木川ダム管理所	
〒500-7212 岐阜県恵那市東野町山2211-71 TEL: 0573-25-5295 FAX: 0573-25-0221 HP: http://www.water.go.jp/ifu/ku/agikawa/	

■ 修了証

徳山ダム管理所

○ 水質テロ訓練を実施しました

11月15日（月）に、徳山ダムの貯水池へ不審者が毒物を混入する水質テロが発生したことを想定した「水質テロ訓練」を実施しました。

この訓練は、揖斐警察署、揖斐郡消防組合消防本部、徳山ダム管理所が参加し、毎年実施しており、今回で11回目となります。

訓練では、貯水池際に不審者が侵入し、怪しいものを投棄しているところを徳山ダム職員が発見して警察に通報し、警察が逃走する不審者の確保を行う「不審者対応訓練」と、船舶を使用し投げ込まれた容器の回収、水の採取分析、容器付近をオイルフェンスで囲い込み毒物を中和させる中和剤（訓練では水）をポンプ車から散布する「毒物対応訓練」を行い、それぞれの役割に応じた実践型訓練となっています。

今年は天候に恵まれ風もなく穏やかな陽気の中での訓練となりました。徳山ダムの担当である船舶によるオイルフェンスで囲む作業は3艇が連携し効率よく実施することができました。

実際に発生した場合にどれだけ迅速に対応できるかという課題はありますが、作業を実働でできたという点では良い訓練となりました。



■ 不審者の確保訓練



■ 貯水池に中和剤散布の訓練（今回は水）

長良川河口堰管理所

○ 津波防災訓練を実施しました

11月19日（金）に長良川河口堰管理所において、津波防災訓練を実施しました。はじめに、内閣府発表のデータを元に南海トラフ地震・津波の想定について再確認した上で、長良川河口堰管理所での津波対応訓練を行いました。

津波対応訓練では、地震発生から津波到達までの時間的制約がある中で、津波情報を速やかに確認し、操作員へ指示を行う流れについて、実際の津波を想定しながらチェックシートを用いて確認しました。

長良川河口堰管理所では、いつ起きるとも分からない地震・津波に対して的確かつ迅速に対応できるよう、今後も定期的な訓練を継続していきます。



■ 南海トラフ地震・津波の想定について確認



■ 津波対応訓練

○ 桑名市立陵成中学校 河口堰・アクアプラザながら見学会を行いました

12月2日（木）に桑名市立陵成中学校2年生42名及び教職員2名が、職場見学の一環として長良川河口堰及びアクアプラザに来られました。

新型コロナウイルス感染対策として、2班に分かれて見学を行いました。管理橋見学中は、熱心にゲートや魚道を見学されており、地元の公共施設について積極的に学ぼうとしているようでした。

アクアプラザ館内で河口堰の役割や歴史について説明した際は、河口堰に関する質問だけでなく、職場見学の一環ということで機構職員の仕事についても質問されました。河口堰について学ぶことと共に、進路選択の一助となっていましたら非常に嬉しく思います。



■ 管理橋での見学の様子



■ アクアプラザながらでの説明

味噌川ダム管理所

○ 「木祖村立木祖小学校施設見学」を開催しました

10月15日（金）、地元の木祖村立木祖小学校の生徒が施設見学に訪れました。この学習は自分たちが利用している水道水の源流を知り、飲み水から排水までの仕組みと、ダムの歴史と役割を勉強するものです。

当日、味噌川ダム管理所では、防災資料館にてダムの役割について説明し、その後場所を、ダム内部のバルブ室に移し、放流設備の解説を行いました。

子供たちは、「ダムの中は涼しい」、「ダムの中に入れて嬉しい」等、感想を述べていました。

今後もコロナ対策を万全に行いながら見学会を開催して行きたいと思います。



■概要説明の様子



■真剣に見学をする児童たち

○ ダム貯蔵酒の蔵出し

木祖村にある【湯川酒造店】の日本酒を5月から味噌川ダムの堤体内に貯蔵し熟成した日本酒が10月20日（水）に蔵出しとなりました。

この取り組みは、暑い夏の間、温度が11度前後で一定し、空気の対流が少なく光が届かないダム地下トンネルの特徴を利用して平成29年から始まったもので、今年で5年目となります。

温度変化の少ない環境で貯蔵された日本酒は、ゆっくりと熟成が進み、滑らかでふくらみのある綺麗な味わいになるとのことです。



■地下トンネルで熟成された日本酒

三重用水管理所

○ 刈草の無償配布を実施しました

三重用水管理所では毎年、ダムを管理する上で発生する刈草を事前申し込みされた希望者に無償配布しています。刈草は畑のマルチングや、堆肥の原料等にご活用いただいております。

今年度の申込みは終了しましたが、毎年秋頃に三重用水管理所のホームページで事前に希望者を募集しておりますので、ぜひお申し込みください。



■刈草ロール作業中



■できあがった刈草ロール

○ 排水ポンプ操作訓練を実施しました

12月3日（金）に、災害支援等で必要になる排水ポンプ車の操作・設営の訓練を実施しました。

訓練では排水ポンプパッケージと発電機に配線を接続し、排水ポンプの運転、停止を行いました。

近年発生している自然災害は、その激甚化、頻発化が指摘されています。万が一の事態にも対応し、災害の被害を小さくできるよう今後とも訓練を続けていきます。



■訓練準備



■排水ホース撤収訓練

○ 安全運転講習を受講しました。

三重用水管理所では、12月7日（火）、8日（水）の両日で二班に分かれて安全運転講習を受講しました。津市にある三重県交通安全研修センターにて、動体視力の検査や路面状況がブレーキに及ぼす影響を体験しました。施設の維持管理のために車両の運転は欠かすことのできない重要な業務の一つです。今後も職員一同交通事故防止の徹底及び一層の交通安全意識の向上に努めます。



■ 動体視力等検査



■ 急制動の体験

イベントカレンダー

中部管内関連のイベントカレンダー 【令和4年1月～2月】

新型コロナウイルス感染防止のため、各イベントについては自粛しております



ブレイクタイム 俳句

【 ともかくも あなたまかせの 年の暮れ 】小林一茶

・この一年、さまざまのことがあったが、あれこれ考えたところで、どうにもならない。今となってはすべてを阿弥陀如来様にお任せして、年の暮れを迎えることにしよう。

編集後記

【担当課：中部支社事業部水路事業課】

令和3年もあと少しとなりました。今年1年どんな年でしたかと聞かれると、「コロナ」と答える人、「オリンピック」と答える人いろいろな方がおられるかと思います。「コロナ」も二年目となり、ワクチン接種も進み、三密を避けつつ少しずつですが行事も行われるようになってきました。

そうしたなか愛知県に緊急事態宣言が出されていた令和3年9月25日、愛知県大府市にある「JAあぐりタウンげんきの郷」で「愛知用水通水60周年の記念式典」も参加者を絞って密を避けながら行われました。イベントでは愛知用水通水60周年記念事業実行委員長である大村知事が「これからも次世代へしっかり引き継いでいきたい」と愛知用水の恩恵について挨拶された後、絵画・フォトコンクールの表彰式や各地をWebで繋ぐオンラインでの交流会などが実施されました。愛知用水の果たしてきた役割や重要性、また水源地域への感謝を次世代に繋げるなど、地域の皆様に伝えることが出来たと考えています。

最後に、令和4年にはコロナが終息し平穏な日常が取り戻せていますように。



今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

[mailto: chubu_water@water.go.jp](mailto:chubu_water@water.go.jp)

*** 『第184号は、2月下旬に発行する予定です。』 ***
バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html>



☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：	https://www.water.go.jp/chubu/chubu/
豊川用水総合事業部：	https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/
木曽川水系連絡導水路建設所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/
愛知用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/
木曽川用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/
岩屋ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/
阿木川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/
徳山ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/
長良川河口堰管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/nagara/
味噌川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/
三重用水管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/

発行者：水資源機構中部支社